



伊豆市

No.39

# 議会だより

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp> 編集:議会広報委員会  
〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2 TEL 0558-72-9906 2014.2.1発行

## 新春もちまき大会～新年をハートのお餅でお祝いしよう



毎年恒例の土肥温泉新春もちまき大会。今年も、元旦と2日に開催され、両日ともに天候に恵まれ1,000人を超える観光客や地元住民が参加しました。もちまきの餅は、恋人の里をイメージしたハート型の紅白餅。集まった人たちは、幸せをつかもうと手をいっぱいにはやし、もちまきを楽しみました。

## 目次 CONTENTS

■ 議長新年のあいさつ .....	2
■ 12月定例会の概要 .....	3
■ 委員会審査 .....	7
■ 一般質問 .....	9
■ 行政視察報告 .....	13
■ 3月定例会の予定 .....	14

# 新春のぐあいやつ



伊豆市議会議長  
飯田 正志

市民の皆様方には、健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は、天城湯ヶ島地区の小学校再編に伴い四月に天城小学校が開校し、多くの子供達の喜ぶ姿を見てホッとしているところです。今後も、通学時の問題などを含め、より良い小学校生活を送るための改善をしていく必要があると思います。

議会内では、六月に議員政治倫理検討特別委員会を設置し、この十二月定例会において議員政治倫理条例が議決され、議員一人ひとりが襟を正し、誠実に職務を果たすための指針が整いました。また、ホームページやFMIS<sup>イス</sup>での議会報告を充実するために広報委員会を立ち上げました。

他方、積極的に近隣の議会との交流を図り、「伊豆は一つ」をテーマに多方面にわたる意見交換や、今後の活動について話し合いをしてみました。今後も継続してまいります。

そして、富士山が世界文

化遺産に認定され、これから世界に向けての観光プロモーションが必要になってきております。今後、近隣の市町と協力しながら、伊豆市を売り込むための観光ルートの作成をしていくべきだと思えます。

さらに、本年は伊豆市誕生十周年を迎えます。同時に、東駿河湾環状道路が開通し、天城北道路の開通も目前に迫りました。交通の利便性が確実に良くなると共に、修善寺駅周辺の整備工事の完成を期に観光客や人の流れが大きく変わってくると思われれます。これを千載一遇のチャンスと捉え、行政と共に将来の伊豆市発展のためにさらなる努力をして参ります。

私たち議員が活動していくためには、市民の皆様の後押しが大きな力となります。

今後とも、市民の皆様のご理解とご協力をお願いすると共に、皆様方のご多幸とご発展を祈念し、新年の挨拶といたします。



▲達磨山からの富士山

# 一般会計の総額は、 165億6920万円に なりました



## 平成25年 12月定例会

平成25年12月定例会を、11月25日から12月13日まで19日間の会期で開催しました。報告1件、補正予算2件、条例関係10件、その他11件、議会発議の「伊豆市議会議員政治倫理条例の制定について」が上程され、審議の結果、原案のとおり可決しました。

### 平成25年度補正予算

#### ◆一般会計補正予算(第4回)

歳入については、平成24年度の国の補正予算措置による地域の元気臨時交付金の交付額1億194万6千円、緊急地震・津波対策交付金1億1200万円などを計上するもの。

歳出については、緊急地震・津波対策基金の創設1億1200万円のほか、早期退職等に伴う退職手当組合負担金の追加や障害者支援、生活保護、観光施設の改修など新たに必要となった予算措置をするもので、歳入、歳出それぞれ2億6130万円を追加し、総額を165億6920万円とするもの。

#### ◆国民健康保険特別会計補正予算(第3回)

療養給付費に不足が見込まれること及び国、県への返還金が発生したことから歳入歳出それぞれ1億1580万7千円を追加するもの。

### 条例の制定

#### ◆伊豆市緊急地震・津波対策基金条例

静岡県では、市町が緊急的に取り組む地震・津波対策を支援するため、市町が設置する基金の造成に必要な経費を交付することとなったことから、交付金を受け入れるための基金を設置するもの。

#### ◆伊豆市修善寺温泉駐車場条例

修善寺温泉における道路交通の円滑化を図り、市民の利便性の向上及び観光交流を推進することを目的に、修善寺温泉駐車場を設置するもの。



修善寺温泉駐車場

◆伊豆市子ども・子育て会議条例  
平成24年子ども・子育て支援法に基づき、「伊豆市子ども・子育て会議」を設置するもの。

### 条例の一部改正

#### ◆伊豆市職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に対応するほか、新型インフルエンザ等対策特別措置法及び大規模災害からの復興に関する法律の制定に伴い、災害派遣手当の支給について規定するなど、所要の改正を行うもの。

#### ◆伊豆市都市公園条例の一部改正

修善寺駅周辺整備事業により、旧牧之郷幼稚園跡地に整備した公園の名称を「さくら堤公園」と改めるもの。



▲さくら堤公園

◆伊豆市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正

平成25年租税特別措置法において、利子税の割合の特例基準割合が改正されたことから、本条例における延滞金の割合の特例を措置法に準じた取り扱いに改正するなどの対応を行うもの。

◆伊豆市税条例の一部改正

◆伊豆市国民健康保険税条例の一部改正

地方税法等の改正に伴い、条例の一部改正を行うもの。

◆伊豆市教育施設の利用に関する条例の一部改正

小中学校体育館の使用の見直し等により所要の改正を行うもの。

◆伊豆市社会教育委員条例の一部改正

社会教育法の一部が改正されたことに伴い、社会教育委員の委嘱の基準を定める必要などのため、所要の改正を行うもの。

報告

◆専決処分の報告

施設事故（天城農村環境改善センター）屋根材の落下による事故にかかるとあり、和解及び、損害賠償の額が決定したため報告するもの。

その他

◆静岡県市町総合事務組合理約の変更

平成26年3月31日をもって小笠老人ホーム施設組合の施設が指定管理制度に移行することに伴い、常任職員が不在となることから、静岡県市町総合事務組合事務のうち市町職員退職手当事務から脱退することとなったもので、地方自治法に基づき規約変更の議決を求めらるもの。

◆公の施設の指定管理者の指定

(中伊豆体験農園)

◆公の施設の指定管理者の指定

(修善寺自然公園)

◆公の施設の指定管理者の指定

(笹湯)

◆公の施設の指定管理者の指定

(恋人岬)

◆公の施設の指定管理者の指定

(萬城の滝キャンプ場)

◆公の施設の指定管理者の指定

(中豆授産所)

◆公の施設の指定管理者の指定

(中伊豆室内温水プール等)

平成26年3月31日をもって指定期間が満了する公の7施設について、指定管理者として、中伊豆体験農園を中伊豆体験農園管理組合、修善寺自然公園を一般財団法人伊豆市振興公社、修善寺温泉笹湯を一般社団法人伊豆市観光協会、恋人岬関連施設を土肥温泉旅館協同組合、萬城の滝キャンプ場を一般社団法人楽々季伊豆、伊豆市中豆授産所を社会福祉法人春風会、中伊豆室内温水プール及び天城温泉プールを有限会社伊豆スイムサポートにそれぞれ指定することについて、議決を求めらるもの。



▲中伊豆室内温水プール(ふれっぷ)の水泳教室

◆伊豆市議会会議規則の一部改正

F M I Sの開局に伴い、声の広報として議会の情報も提供できるようにになりました。また、議会ホームページについても、委員会活動など、市民に議会を知っていただくため、更なる情報発信が必要となりました。このため、議会だよりの編集等に限定して活動を行っている議会報編集委員会を活動の場を広げ、議会の広報全般について協議できるよう、議会広報委員会とするもの。



▲議会広報委員6名です。1年間、よろしくお願ひします。

◆伊豆市農業委員会委員の推薦

任期満了に伴い、古見梅子氏(市山)再任、山田貴子氏(小下田)再任、佐野裕子氏(大野)新任、塩谷美和子氏(筏場)新任、を推薦しました。

任期は、平成26年3月1日から3年間です。

# 伊豆市議会議員の政治倫理基準を定めました

## ～ 伊豆市議会議員政治倫理条例が可決 ～

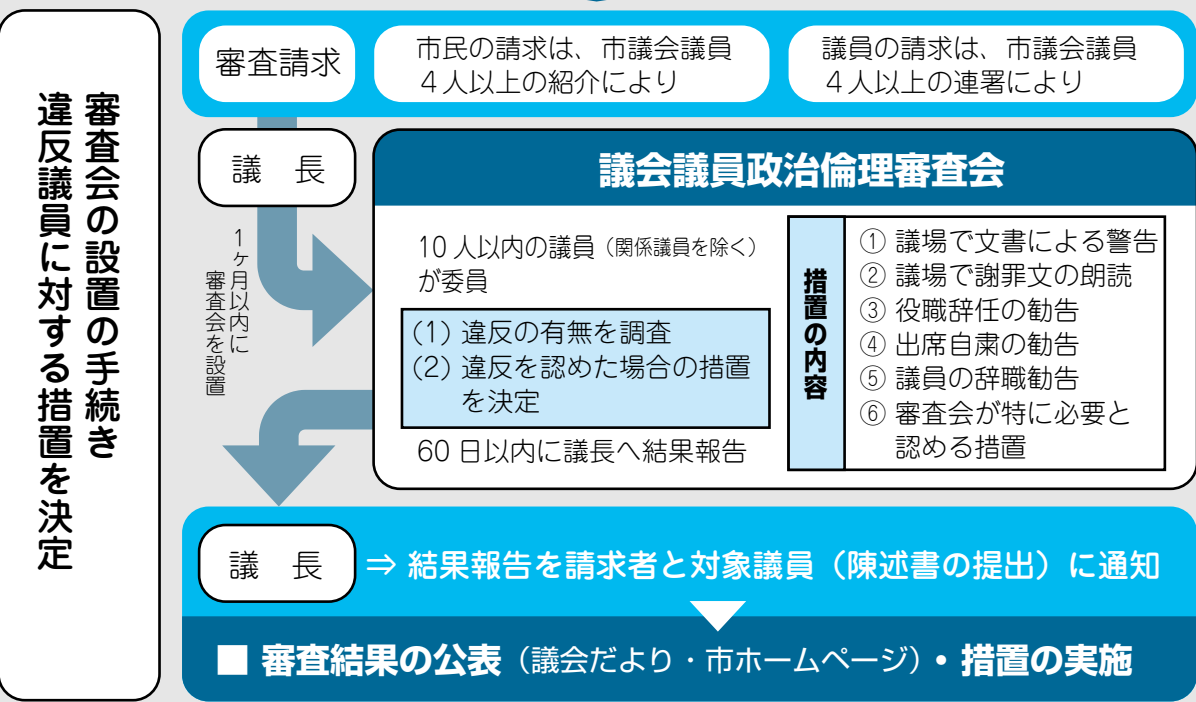
平成25年12月定例会に、伊豆市議会議員政治倫理検討特別委員会から伊豆市議会議員政治倫理条例案が提案され、賛成多数により可決されました。

この条例は、市議会議員が政治倫理基準に違反する行為があったと疑われる場合、市民が政治倫理審査会に審査請求をすることができます。審査会では、その違反の有無を調査し、違反があると認めるときは、その議員に対する措置について決定します。

### 条例の概要

<b>目的</b>	議員の権限や地位を不正に行使しないよう、議員が遵守すべき政治倫理の基本的事項を明確にし、公正で民主的な市政の発展に寄与すること。
<b>責務</b>	もし政治倫理に反する疑惑があった場合は、自らその事実を明らかにし、弁明し、その責任や進退を明らかにしなければならない。
<b>議員が守るべき政治倫理基準</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 議員としての名誉と品位を損なう行為、不正と疑われる行為をしない。</li> <li>② 議員の地位を利用し、不正な影響力を行使して金品をもらわない。</li> <li>③ 市の許可や補助金交付の決定について、不正に特定の企業や団体などのために働きかけをしない。</li> <li>④ 市や伊豆市振興公社、指定管理者等が行う工事等の請負契約、業務委託契約、物品納入契約について不正に特定の業者のために働きかけをしない。</li> <li>⑤ 市や伊豆市振興公社、指定管理者等の職員の人事に関与しない。</li> <li>⑥ 市や伊豆市振興公社、指定管理者等の職員の公正な職務執行を妨げる行為や議員としての影響力を不正に行使する働きかけをしない。</li> <li>⑦ 議員の発言又はチラシ、インターネットなどの情報発信で、いつわりの事実により他人の名誉を傷つけない。</li> </ul>

### 違反した疑いがある場合



## 平成 25 年第 4 回（12 月）定例会で審議した議案

## ■賛否が分かれた議案

件 名	議決結果	永岡 康司	三田 忠男	小長谷 朗夫	山下 尚之	山田 元康	青木 靖	大川 明芳	梅原 正次	小長谷 順二	西島 信也	森島 吉文	杉山 誠	室野 英子	森 良雄	木村 建一
-----	------	----------	----------	-----------	----------	----------	---------	----------	----------	-----------	----------	----------	---------	----------	---------	----------

## 条例関係

伊豆市修善寺温泉駐車場条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市議会議員政治倫理条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○

## その他

公の施設の指定管理者の指定について (修善寺自然公園)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
公の施設の指定管理者の指定について (萬城の滝キャンプ場)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市議会議規則の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※1 ○ 賛成 × 反対

※2 議長(飯田正志)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

## ■全会一致で可決した議案等

専決処分報告について (施設事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定)	伊豆市教育施設の利用に関する条例の一部改正について
平成 25 年度伊豆市一般会計補正予算(第 4 回)	伊豆市社会教育委員条例の一部改正について
平成 25 年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算(第 3 回)	静岡県市町総合事務組合規約の変更について
伊豆市職員の給与に関する条例の一部改正について	公の施設の指定管理者の指定について(中伊豆体験農園)
伊豆市緊急地震・津波対策基金条例の制定について	公の施設の指定管理者の指定について(管湯)
伊豆市都市公園条例の一部改正について	公の施設の指定管理者の指定について(恋人岬)
伊豆市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	公の施設の指定管理者の指定について(中豆授産所)
伊豆市税条例の一部改正について	公の施設の指定管理者の指定について(中伊豆室内温水プール等)
伊豆市国民健康保険税条例の一部改正について	伊豆市農業委員会委員の推薦について
伊豆市子ども・子育て会議条例の制定について	閉会中の所管事務調査の申し出



委員会の議案審査で、次のような質疑がありました

## 第1委員会

### 〔観光経済部関係〕

#### ◆一般会計補正予算（第4回）

**問** 旭滝公衆トイレ改修工事の内容及び工事概要の説明を。

**答** 男子トイレの大便器を和式から洋式に変更し、小便器に手摺を設置します。また、女子トイレは和式を障害者対応として、洋式の多目的トイレに作り替えます。なお、入口の部分は車いす対応を考えています。

#### ◆公の施設の指定管理者の指定について（中伊豆体験農園）

**問** 指定管理者の実態は添付資料で分かるが、契約内容がわからない。その辺りの内訳が出ていないので周知して欲しい。また、契約内容等を明らかにしてからの採決としていただきたい。なお、この

施設の指定管理料はどうなっているのか。

**答** 指定管理施設に関する説明書は様式を統一しているため、議案参考資料のとおりとなります。また、この施設は利用料金制で管理運営を行っています。

#### ◆公の施設の指定管理者の指定について（萬城の滝キャンプ場）

**問** このような施設は、公の施設であるから議題になっているが、公の施設として行政が関わる基本的スタンス、また、公の施設になっている理由、それぞれ公共性があるからだと思われるが、どのような経緯になっているのか。

**答** 一つには市が造った施設であること。また、一部の人が利用するものではなく、観光客だけが利用するものや、料金を取る場合は一部開放しないところや該当しない部分も出てきますが、子供たちの自然体験や市民を交えた住民の福祉を根本に考えた場合、公の施設の指定管理が打ち出されて以降、市が直接経営もしくは、指定管理に出すことで、市が単独で行うよりサービスの向上が見込まれると

判断した場合などは、指定管理者に管理を任せています。

**問** 景気の良い時代にはこれらの施設も経営が成り立っていたが、将来的には、施設の廃止や解体等を考える時期が来るのではないかと。

**答** 公の施設の必要性や、市の財政的な体力を勘案して、今後は老朽化等を見据えた施設の廃止や存続の判断が必要になってきます。



▲萬城の滝キャンプ場

### 〔建設部関係〕

#### ◆一般会計補正予算（第4回）

**問** 農地災害復旧事業は、中伊豆の2件ということですが、どのような内容か説明を。

**答** 2件ともに中伊豆地区になり、1件は西公民館先の上流側の水田になります。所有者が異なる2カ

所を1工区と2工区に分け、1工区は延長13m、2工区は延長14mで、共に「ふとん籠工法」です。

もう1件は、清水の電気工事店裏の水田になり、法面が高いので、延長5mのブロック積みになります。



▲台風による田の崩落（中伊豆地区）

## 第2委員会

### 〔市民環境部関係〕

#### ◆一般会計補正予算（第4回）

**問** 滞納者電話催告業務委託料の増額となる業務の理由について説明を。

**答** この委託契約は、電話催告業務委託の名称ですが、電話催告業務と窓口サポート業務の内容で同

じ業者に委託しています。2月からの確定申告により市民税スタッフが別館に移り申告業務等を行います。その間、窓口業務のサポートを厚くする必要があります。正となります。

#### ◆国民健康保険特別会計補正予算(第3回)

**問** 繰越金の予算未計上の残額はいくらか。

**答** 今回の補正後、1億5871万8426円となります。

#### ◆伊豆市税条例の一部改正について

**問** この条例改正は、市民にとってプラスとなるのか。

**答** 今回の条例改正は、株式会社や公社債に関するもので、一般の方も投資しやすい環境が整ったと言えます。ただ、市民にとってプラスかマイナスかは、株式会社ですの一概には言えません。

#### 【健康福祉部関係】

##### ◆一般会計補正予算(第4回)

**問** 障害者総合支援事業の更生医療費と育成医療費の内容について

説明を。

**答** 更生医療費は、生活保護2名の方と身体障害者手帳を持たれていて手術等をした3名の方の分の増額です。

育成医療費は、18歳未満の児童に係るもので、身体障害者手帳等を持たれていて生活能力を得るための手術等に係る費用負担です。これは本年度から県から権限移譲され、予算化しています。県の資料をもとに4名分の予算額としましたが、本年度は生まれて直ぐ障がいをもつ児童が多く、心臓や肺の手術にかかった方があり、大きな増額となりました。

**問** 保育士等処遇改善臨時特例事業補助金の制度について説明を。

**答** 平成25年2月の厚生労働省からの通達で、基本的な考えは、待機児童の早期解消のために民間保育所で保育の量の拡大を図るため、保育士に対する処遇改善をする保育所に資金提供をするものです。改善内容は、民間法人の考え方で、まちまちですが、保育士の人材確保や現在の保育士への処遇加算な

どに関する計画書及び3月に実績報告を市に提出していただき補助します。これは国庫補助です。10分の10の財源充当率となります。

#### ◆伊豆市子ども・子育て会議条例の制定について

**問** 今までの保育所運営委員会と新しく設置する子ども・子育て会議の大きな違いとは。

**答** 保育所運営委員会は、保育所の運営に関することだけでしたが、子ども・子育て会議は、こども園、幼稚園、放課後児童クラブ、学童保育も議論の対象としますので、取り扱う内容が広くなりました。

**問** この条例の子どもとは、18歳までと理解してよいか。

**答** 子ども・子育て支援法では18歳までです。ただ、会議設置の目的として、特定保育・保育施設の定員や子育て支援事業計画、その他児童福祉に関する審議となりますので、幼児等が中心となっていくものと考えます。

#### 【教育委員会関係】

◆伊豆市教育施設の利用に関する条例の一部改正について

**問** 運動施設では、ナイター料金とは別途定めてあるが、学校の運動場には照明料金はないのか。

**答** 学校の運動場の照明施設は、他の運動施設のナイター設備と明るさや電球が違いますので、別途料金を定めることは考えていません。

#### ◆伊豆市社会教育委員条例の一部改正について

**問** 追加する2条に、家庭教育の向上に資する活動を行う者となるが、具体的には、どんな活動をされる人を示しているのか。

**答** PTAや保護者も入ります。

**問** この改正は、委員の選考が広くなったのか、狭まったのか。

**答** 社会教育法で地域の事情にあった委員を入れなさいとする内容が文部科学省から示されており、それを参酌して条例で定めますので、委員の選考の範囲は、今までと変わりません。





# 市政を問う

## ～一般質問～

10人の議員により24件の質問がありました。  
そのうち、それぞれ1件についてお知らせします。(要約・質問順)

### 質問

## データヘルスの導入で 医療費適正化を

(杉山 誠議員)

データヘルスとは、医療保険者によるデータ分析に基づく保健事業のことで、レセプト・健康診断情報等を活用し、意識付け、受診勧奨などの保険事業を効果的に実施するために作成するものです。

レセプトの活用により、医療費適正化に成功している「呉方式」が注目されていますが、当市の取り組みはいかがですか。

### 市長 市答

## 健康管理システムで 分析し、各対策を実施

特定健診結果を健康管理システムにより分析し、保健師による訪問指導のほか、再受診の勧奨や糖尿病・高血圧・脂質異常症・肝臓病等に関する講座を開催するなど、データを活用し、効果的な保健事業により、医療費の適正化に努めています。



### 質問

## 「新たな地域づくり 制度」の推進と対策

(山下 尚之議員)

自ら考え行動する組織「地域づくり協議会」の設立の提案、市内13校区この事業が展開できれば、伊豆市再生・地域活性化のため、継続された素晴らしい事業と期待されます。

良い事業ゆえに不公平感のないよう全組織立ち上げに対して行政主導が必要と思われるが、市の推進と対策は。

### 市長 市答

## 地域の皆様が主役です 行政は支援をします

地域の皆様が主体・主役です。行政主導では、皆様が日々の生活に幸せを感じると思えません。

行政は、準備段階から職員を支援員として、1協議会あたり5名派遣し支援策を考えていきます。交付金を500万円以内で交付します。来年度は2件分予算措置を考えています。

今後にも広報誌や会議等の機会あるごとに、説明申し上げます。

稼働が始まれば、FM等にも出ていただいで、PRに参加していただければと考えております。

質問

伊豆市公立小・中学校  
再編を問う

(小長谷 朗夫議員)

今後の学校再編成における教育委員会の考  
え方について伺います。

最初に再編成の目的、その上での保護者等  
との話し合いの場の設定。また、第2次学校編  
成計画の策定期、その中に盛り込まれる修  
善寺地区4小学校の統合時期、及び土肥地区  
の小中一貫校の意義、残り3中学校の統合の  
方法、一歩も二歩も踏み込んだ統合はないの  
か。

長弁  
教育  
教答先を見据えた第2次学校  
再編計画を策定します

学校再編については、少子化傾向が顕著で  
ある中で、良い教育・学習環境を整える事を  
目的とし、各中学校区で説明会を開催してい  
きます。また、第2次学校再編計画の策定期  
間は、今年度末、もしくは来年度の最も早い  
時期を予定しています。修善寺地区小学校の  
再編時期については、整備期間も必要なため  
6年先あたりが妥当と考えます。土肥地区の  
小中一貫校の意義は、9カ年の一貫した指導  
と小中学校の教員が相互に授業を実施するこ  
とで質の高い授業が期待できます。土肥地区  
での方向性が決まり次第、残り3中学校の再  
編も推進していきたいと考えています。

質問

少子化対策の  
中長期政策を

(木村 建一議員)

6月議会で、「少子化対策に係る部署  
が連携する組織」の提案に対し、市長は「検  
討したい」とのことでしたが状況をお聞かせ  
ください。

2011年国立社会保障・人口問題研究所  
が実施した「第14回出生動向基本調査結婚と  
出産に関する全国調査」に理想とする子ども  
の数を持たない理由について、所見を。

長弁  
市答人口減少・少子化対策  
は総合施策で

人口減少・少子化対策は、縦割りの政策だ  
けでなく、子育て支援、人口減少対策、定住  
化促進等の政策を確実に包括的に総合的に推  
進していくことだと考えています。

高校生は通学距離が長い、通学費負担  
が重く、今後、定期券か回数券なのか、どの  
ように助成したら良いか現在検討中です。

長弁  
教育  
教答

高校生の通学費の保護者負担軽減  
策については、就学困難な生徒、学  
生に対して、奨学金制度を実施し、  
経済的負担の軽減を図っております。

質問

伊豆観光推進協議会の  
強化について

(小長谷 順二議員)

伊豆半島広域連携について、伊豆観光推進  
協議会のさらなる強化の必要性を感じます。

今年度中には、東名・新東名から伊豆市大  
平まで自動車専用道路が接続します。そして  
海上交通も静岡市と土肥が海の玄関口として  
つながっています。この立地状況から伊豆市  
が中心となり伊豆半島の広域連携を進めてい  
くべきだと思いますが如何でしょうか。

長弁  
市答伊豆半島7市6町での  
事業を具体化したい

観光客誘致のプロモーション活動を海外で  
行う場合に、個々の市町が個別に行っても効  
果は非常に少ないと考えています。

今、伊豆半島7市6町サミットの中で、伊  
豆半島ランドデザインもできあがり、これ  
を推進する組織を作る中で、できることから  
始めるよう提言させていただいています。12  
月に開催される7市6町の会議で、伊豆半島  
広域で一緒に行う事業を協議し具体化してい  
きます。伊豆半島他市町の同意を一日も早く  
いただきたいと思います。

質問

疑惑の入札

(森 良雄議員)

田代に建設するし尿処理場です。まともな答弁もなく疑惑は高まるばかりです。それは答えようとしなからずです。隠そうとするからです。9月議会で言った、品確法とは公共工事の品質確保に関する法律ですか。品確法のどこに受注者の提案を守るようにと書いてありますか。

市長 品確法8条及び閣議決定を遵守した取扱い

公共工事の品質確保の促進に関する法律第8条による受注者の保護については、同法8条1項に基づく基本的方針について、平成17年8月に閣議決定がなされています。技術書提案については発注者が落札者決定の際に、その評価の方法や内容を公表しなければならぬとしており、民間の技術提案自体は、知的財産であることに鑑み、提案内容に関する事項が他社に知られることがないようすることなど取扱いに留意するものとするとなっております。

質問

天城会館指定管理料の支出は適正か

(西島 信也議員)

①市長は、天城会館指定管理料として23年度に約930万円、24年度に2380万円を伊豆市観光協会に支出しているが、具体的にどのような業務を行わせているのか。  
②天城会館収支決算報告書において、入場料収入、人件費その他が未掲載となっているが、その理由はどのようなものか。

経済部長 天城会館の指定管理について

①天城会館の業務は、地域の特色を活かした物販の展開、誘客拠点としての展示事業、新たな観光メニューとしてのソバ打ち体験の開催並びに地域づくり勉強会の開催などの観光振興事業、施設の維持管理業務です。  
②業務仕様書に基づく事業であるため、観光協会より提出される事業報告書への記載はありません。



▲天城会館

質問

伊豆市の小中一貫校について

(室野 英子議員)

小中学校の円滑な接続をめざし、9年間を見通したカリキュラムで教育する公立の小中一貫校が急増し、全国で100校が開校した。  
①伊豆市で小中一貫校を進める目的は。  
②京都市立大原学園と信濃町立信濃小中学校を視察した。両校共、地域と強力な支援関係を築いていた。伊豆市は如何に推進していくのか伺います。

市長 伊豆市土肥地区で小中一貫校を考える

①9カ年の一貫した指導と小中学校の教員が相互に授業を実施することで質の高い授業が期待できるメリットに加え、児童生徒数の減少により子供達の活動に制約がでてくる面を解消できると考えます。現在でも小中学校で交流活動を進めています。日常的な清掃や部活動などにおいても交流が図られ、子供達の活動に幅を広げることが期待できます。  
②土肥地区で小中一貫校を推進する場合は、地域の方々の協力を得ながら、地域と一緒に子供達を育て、地域の方との交流を考えた教育と複合的な施設の併設を考えます。

質問

社会保障関係施策の  
現状と課題を問う

(三田 忠男議員)

社会保障関係の現状と課題について、介護保険、障害者福祉、児童福祉、地域医療の各分野のサービスの過不足、人材確保、今後の重点的施策、法律改正への対応等伺います。



長井 国・県に申し入れ、  
できる事から進める  
市答

介護保険は、在宅で安心して暮らせるようにバックアップすることに重点をおきます。障害者福祉は、障害者個々の支援計画の充実に努めます。

児童福祉は、保護者のニーズに合ったことも園などの整備を行い、障害児支援は発達障害児を支援する会と東部市長会などが連携して県に要望します。

地域医療は、医師不足が深刻ですが、地域医療のあるべき姿について国・県に申し入れをしながら、伊豆市でできる事を最大限果たしていきます。

質問

人口を増加させるため  
どんな施策を取るのか

(青木 靖議員)

第1次伊豆市総合計画の基本計画の中で、重点プロジェクトのうち「住環境整備」と「次世代育成」は人口増加に寄与する施策ですが、これまでの成果と今後の取り組みの方向性を伺います。

結婚適齢期の世代の未婚率が増加していることをどのように分析して伊豆市の事業に対応していきますか。

長井 都市計画の見直しと  
若者交流の推進  
市答

住環境整備については、地区計画の策定、より快適な生活環境を整えるための上下水道の整備や時代に合った住宅の確保等々、着実に整備・改善を進めていきます。

次世代育成は、幼児教育が非常に大切となります。教育の質の向上、行政サービスの充実を目標として進めて参ります。

未婚率増加の対策は、結婚相談の会とリーグの2つの事業を進めると同時に、伊豆半島サミットにも提案し、周辺市町との連携を強めて参ります。

次のような  
質問もありました。

件名のみお知らせします。また、映像はホームページから配信中です。ご覧ください。

西島信也	森 良雄	小長谷順二	木村建一	山下尚之	杉山 誠
市長名誉毀損裁判について	学力テストの準備は始めましたがインバウンド	第1委員会三陸被災視察研修からみえた伊豆市の津波被害における行動について	地域づくり協議会と行政組織との関係、議会の関係を明らかに	「光ファイバー網」の整備構想について	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために 図書館における「雑誌スポンサー制度」の導入について
			旧小学校跡地の体育館は災害避難場所としての市の管理下に		

# 常任委員会行政視察

## 第1委員会

(平成25年10月22日～24日)

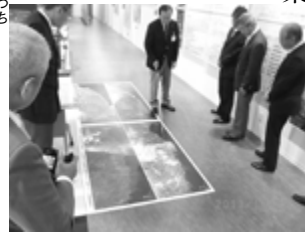
### ●岩手県遠野市

遠野市は、内陸部に位置し、震災以前より、後方支援活動拠点としての構想をまとめ、沿岸部の津波災害を想定し、平成19年に、三陸地域地震災害後方支援拠点施設整備推進協議会を設立、翌20年には、陸上自衛隊東北方面隊震災対処訓練「みちのくALERT」<sup>アラート</sup>2008」を実施しています。

この結果、地震発生14分後には防災センターに隣接する運動公園の開放を指示し、自衛隊、警察、消防、医療隊をはじめとした救援隊の受入準備が進められ、災害支援の後方支援基地としての機能を発揮しました。

また、本田遠野市長は、現在の被災市町村からの支援要請を前提とした「災害救助法」では、被災地の支援ができない仕組みになっている。そこで、被災地支援は法と手続きを超えた対応を被災市町

村と支援自治体が水平連携で行うことを提案していた。



▲遠野市総合防災センター

### ●岩手県大槌町

大槌町では、横浜ゴムの支援活動の一環として「いのちを守る森の防潮堤」づくりを実施しており、「鎮魂の森」構想として、コンクリートの巨大な防潮堤の背後に、多くの町民の生活の思いや遺品的な瓦礫を資源と捉え、その上に植樹をし、緑豊かな公園を築く鎮魂の森公園造成事業現場を視察しました。

### ●岩手県釜石市

釜石市鶴住居地区にある静岡県が設置した「三陸ふじのくに絆ハウス」を訪問し、被災状況と復興支援状況の説明を受けました。

釜石市は、死者・行方不明者が千人を超える中で、9割以上の児

童生徒が無事避難することができ、防災教育の重要性を示しました。

### ●岩手県陸前高田市

陸前高田市では、被災箇所の様と現状の復興状況や高台移転の状況等を聞き、それぞれ現地での説明を受けた。被災した旧市役所庁舎、市民文化会館、市民体育館は取り壊され復興が進んでいました。

### ●宮城県南三陸町

南三陸町防災対策庁舎は、津波の脅威を伝える「震災遺構」として後世に残すことを検討している施設で、震災の凄さを肌で感じられるものでした。

## 第2委員会

(平成25年11月12日～14日)

### ●山梨県北杜市

介護保険・介護予防・日常生活支援総合事業を視察。当市と介護保険の状況に差はないと感じました。地域包括支援センターは直営の1カ所のみ。通所型予防サービス(ふれあい北杜)と生活支援サービスを実施しています。

### ●長野県信濃町

信濃小中学校の小中一貫校の運

営について視察。小中合同で運動会を開催し、9年生が6年生以下の生徒の模範となるよう行動する。9年生(受験生)にとって下級生は癒しの効果があり、下級生にとって9年生は憧れの存在である。5・6年生の90%が授業が楽しいと答える。職員室は小中教員で1室、中学の先生も5・6年生を教える体制が整っていました。

### ●長野県大町市

北アルプス広域連合のごみ処理施設の建設予定地公募制度実施について視察。当市と同様に2回の候補地選定に失敗したが、住民の意識が変わる。公募制により6カ所の応募があり、その中から建設予定地を決めた経緯を伺いました。

### ●千葉県野田市

ごみ処理施設の建設予定地公募制度実施について視察。処理場候補地を公募制にて募集したが、最終選考の2カ所には公募用地が入らない決定となった。その選定は、市民を含めた審議会を設置し、ごみ焼却の専門家や議員も加わっていました。

# 平成25年度会派の議員派遣報告

木村健一議員 (無会派)

〔派遣日〕 8月3日～5日

〔視察先〕 自治体学校 in 新潟

〔目的〕

地方自治の現状と課題を学ぶ

〔研修内容〕

1日目は、一橋大の渡辺治氏の「参院選の結果と安倍政権」、京大の岡田知宏氏の「道州制に對抗して 新しい時代時代の地方自治を構築しよう」、吉田隆吉氏の「脱原発こそすべての命を救う絶対の手立て」の講演を受ける。

2日目は、「基礎から学ぶ現代地方財政」の講座を受け、総務省のホームページの資料の活用が勉強となった。

3日目は、韓国・忠南大の朴珍道氏の「韓国の地方自治その現状と展望」の話を聞く。

森 良雄議員 (無会派)

〔派遣日〕 10月14～18日

〔視察先〕 島根県隠岐島

〔目的〕

・ 日本ジオパーク全国大会隠岐大会視察  
・ 国内の各ジオパークの活動の様子

〔研修内容〕

隠岐ジオパークが世界ジオパークに認定された。大きな特徴は各ジオサイトにトイレが整備されていること。国内のジオパークは、今回7カ所が認定され、32カ所となった。この大会では、各地のジオパークのPRブースがあり、伊豆半島ジオパークは、ブース以外にジオ菓子の販売も行っており、他との違いを見せていた。隠岐島では、観光協会が工夫し、心のこもった「おもてなし」をしていた。

## 議会傍聴・視聴について

本会議はごなたでも傍聴することが出来ます。当日、本庁2階へお越しください。

団体の場合には、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしていますので、ぜひご覧ください。

(議会事務局0558-72-9906)

## 3月定例会の予定

場所 本庁2階 議場

時間 午前9時30分～

2月25日 (火) 施政方針演説

議案上程

3月3日 (月) 議案質疑

18日 (火) 一般質問

19日 (水) 一般質問

25日 (火) 委員長報告

質疑・討論・採決

※日程については、変更となる場合があります。ご了承ください。

## 編集後記

議員発議により、議会報編集委員会が「議会広報委員会」と改正され、議会だよりの編集及び発行から、議会の広報に関する事項に範囲を広く改められました。

具体的には、議会ホームページ及びコミュニティFMによる広報等が追加され、市民の皆様は、議会に関する情報がより行き届くようになりました。

委員も入れ替わり新たな体制で、活動いたします。

今月号は、広報委員会としての第一号の発行となり、表紙の写真は広報委員が撮ってきました。

今後とも、皆様に読まれ、聴かれ、広報誌を通じて、議会が市民各位の信託に込めていけるよう委員会活動を推進していきます。

委員長 三田 忠男